

令和7年度 第4回 鴨江小学校学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年2月12日(木) 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 鴨江小学校 南校舎1階 会議室
- 3 出席委員 大石 宗一郎、山下 健一、大渡 三千子、影山 明美、山本 高之
- 4 欠席委員 井上 泉、齊藤 浩二、青木 孝志、後藤 真吾
- 5 オブザーバー 桐澤 祐貴(県居協働センター主任)
- 6 教務コーディネーター 山口 利恵
- 7 学 校 杉山 友里(校長) 野中 律宏(教頭) 渡邊 夕紀子(教務主任)  
葉室 亜矢(CSディレクター)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 葉室 亜矢
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、大石委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 次年度の学校運営の基本方針
- (3) 学校運営協議会の自己評価
- (4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)

12 会議記録

司会から、委員10名のうち6名の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。熟議に先立ち、授業参観に行くように司会から指示があり、1年生は下校済みのため、2年生以上の学級を参観した。

- (1) 前回の会議録確認
- (2) 熟議

①学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり委員からは以下の発言があった。

○4年生の息子の友達とのかかわりについて、担任から電話をいただいた。何かあったら大小かかわらず連絡をいただけて、非常にありがたい。(山本委員)

○総じて、保護者と児童の回答に10%の差がある。学校側で思うことはあるか。

→昨年度の事例だが、子供たちは「あいさつできている」と感じていた。朝会でこの結果を棒グラフにし、保護者は「できていない」と感じているよ、と示した。挨拶は相手に伝わらないとしたことにはならないことを伝えた。鴨江小の児童は自己肯定感が高いが自己有用感が低い。メタ認知、自分を理解するところが弱い、自己肯定感が高いのは悪いことではない。このあたりのギャップを埋めていけたらと思う。(校長)

→「相手がいるよ」というのが高学年になるにつれてわかるようになるといい。

(大石委員)

○「え」の項目、「鴨江小はいじめがなく子どもたちが安心して生活できる学校であるについての保護者の回答が、80%を超えている。4人に1人、このように感じていることについて多く感じる。実態はどうか。（大石委員）

→被害者・加害者にそれぞれ起こったことを伝えている。小さいことから大きいことまでいろいろな事案を保護者に報告しているので、そのように感じる保護者が多い可能性がある。組織で対応している。いじめられている子・いじめた子、両方の子供の心に、これからも寄り添って指導しく。（校長）

○小さなことでも保護者に報告を入れるというお話があったが、例えば、頬をいきなり指でつつかれ、やられた子が泣いたとする。その場合、保護者に報告するかのか。（大渡委員）

→いままでの様子や人間関係、けがの状況により判断していく。（校長）

## ②次年度の学校運営の基本方針

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき次年度の学校運営の基本方針について説明があった。全員異議なくこれを承認した。また、資料に加え、以下2点について追加で説明があった。

○ワーカーマン・地獄坂のところの旗振りについて

負担に偏りがあるので、全家庭に1年間で1回はやっていただくように、今、投票の最中である。もし可決されたとして、旗振り必要回数に対して実家庭数が足りないので、2回目をやってくれる保護者や地域の方のボランティアをお願いしたい。

○学習ボランティアについて、継続していきたい。

委員からは以下の発言があった。

○地獄坂の旗振りについて、西高への働きかけをするのはどうか。（山口委員）

→PTAが対応済みである。西高の校長にも連絡済みである。（校長）

→地区の中で協力してくれる人がいると助かるので、自治会でも声掛けをお願いしたい。（大石委員）

## ③学校運営協議会の自己評価

別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価について、挙手数等で評価を決めた。

・評価項目1 よくできた（3名）

→学校側からも毎回丁寧に説明していただいている（大石委員）

・評価項目2 よくできた（3名）

・評価項目3 行った（3名）

→自治会の中で十分に落とし込んだということはなかったので、来年は十分に落とし込んでいきたい（大石委員）

・評価項目4 記載内容で承認

→学校側から丁寧に説明をいただいている（大石委員）

#### ④夢育やらまいか事業（CS加算分）

議長の指示により、教頭から夢育やらまいか事業についての報告があった。

→6万円いただいたので、令和6年の意見書を元に、以下の用途で使用了。（教頭）

- ・花の苗と土
- ・講師への謝礼
- ・昼休みサポーター・画用紙などの教材

→来年度も同じくらいの金額をいただけるのではないかと思うが、昨年度の意見書をもとに、今年度の意見書を作成してほしい。（教頭）

委員からは以下の発言があった。

○プロの方の協力できいな花壇になった。この方たちの手を借りて継続してほしい。  
（大渡委員）

→意見①はそのまま継続

○意見②は10回予定していたが、台風・インフルエンザの影響で8回になった。西高の生徒38名が参加してくれた。来年度も継続して行いたいと考えている。（山口委員）

→意見②もそのまま継続

○学習ボランティアの充実、謝礼で使いたい。継続してほしい（校長）

→自治会として十分な活動ができていないので、今後は依頼があれば前向きに検討していく。（議長）

→意見③もそのまま継続

#### (3) 報告

来年度の計画を進めています。自治会の皆様に協力していただきたいことが増えてくると思うので、協力をお願いしたい。（山口委員）

#### (4) その他 連絡事項

令和7年度末運営協議会委員退任者と令和8年度運営協議会委員について紹介があった。退任者にはお礼を伝えた。

以上